

公立学校共済組合青森支部

1

ライフデザインセミナーの開催状況

ライフデザインセミナーは、55歳以上の教職員および家族を対象とした「退職準備型」と全年齢の教職員および家族を対象とした「生活充実型」の2種類のセミナーを開催しています。

例年、「退職準備型」を3会場で、「生活充実型」を2会場で開催しておりますが、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、「退職準備型」はWEBでの閲覧形式で開催し、「生活充実型」は開催形式が整わなかったことから中止としました。

2

セミナーの実施内容(プログラム等)

対象者 / 年度末55歳以上の教職員

視聴期間 / 12月中旬～1月上旬

参加人数 / 216人

プログラムおよび内容 / 外部講師による講義

- 退職後の健康プラン・生きがいプラン / 約60分
- 公的年金・退職後の医療制度 / 約60分
- 退職後の経済生活プラン / 約60分

3

工夫している点

例年は、より多くの教職員が参加できるように、開催時期を夏季休業中または週休日とし、開催場所も地区ごとに設定しています。

また、対象年齢を設け、参加者の年代に合わせた講義内容を設定するため、「退職準備型」と「生活充実型」の2種類のセミナーを開催しています。



公立学校共済組合青森支部では、青森県教育委員会との共催により、教職員の生涯生活設計への関心を高めるとともに、教職員が自らの課題・問題点を明確にし、在職中から退職後までを見通したライフプランを設計できるように、ライフプラン作成に必要な知識や情報の提供を目的としたライフデザインセミナーを開催しています。

4

参加者の反応・アンケート結果

セミナー終了後、次年度の参考とするため、参加者にアンケートの協力をお願いしています。参加者からは「退職後の生活について視野を広げることができた」、「今の生活を見つめ直し、退職に備えようと思うきっかけになった」など、多くの参加者から参考になったとの感想をいただいている一方で、「(セミナー) 内容が一般的である」、「具体的にどうすればよいのかわからない」など、個々の事情を勘案した細やかなセミナー内容を希望する声もありました。

また、今回初めての試みとなったWEB形式での開催については、「自宅で家族全員と視聴し、今後の生活設計について共有できた」、「自分のペースで視聴できた」、「聞き逃した箇所、もう一度確認したい箇所を繰り返し再生し、理解を深めることができた」と概ね好評の声がある一方、「視聴できる期間が短い」、「講師の方にもう少し詳しい話を聞きたい箇所があったが、今回の形式ではそれが出来ない」、「自分が一番聞きたかった講義について時間と内容が不足しているように感じた」との声もいただいていた。

5

今後の課題

例年の集合形式では、多数の申し込みがあるものの、会場のキャパシティとの兼ね合いで優先順位を付けて参加者を決定せざるを得ない状況でしたが、WEB形式では申込者ほぼ全員の方に参加していただくことができました。しかしながら、前述のとおり開催形式によってデメリットは必然的に生じること、今後の感染状況によっては開催形式を柔軟に変えていかなければならないことが想定されるので、それによって生じるデメリットを補うような工夫が必要であると実感しました。

また、「生活充実型」については、例年、若年層の参加が少ないことから、世の中の動向とリンクし、参加するモチベーションを持つことができる内容を毎年精査しながら、教職員の生涯生活設計を支援できるよう尽力していきたいと思えます。

(公立学校共済組合青森支部 共済企画・保健グループ 蝦名 久幸)

